

# 横浜・鶴見に物流拠点

## ダイワコーポ 延べ床6万2600平米

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）は6月26日、30カ所目の物流拠点となる横浜鶴見営業所（横浜市鶴見区）を9月に開設する、と発表

した。羽田空港や横浜・川崎両港に近く、海運・空輸を利用した輸配送の拠点に適している。

首都高速道路神奈川1号横羽線・生麦インターチェンジ（IC）から1・2キロ、汐入ICからも1・5キロとアクセスに恵まれた立地。JR鶴見線・鶴見小野駅にも徒歩5分と近く、通勤の利便性が高く雇用確保に有利だ。

敷地面積2万8700平方メートル、鉄骨造り4階建て



太陽光パネルを設置し、耐熱性の高い外壁を使用するなど環境に配慮（完成予想図）

で、延べ床面積6万2600平方メートル。

各階の床荷重は1平方メートル当たり1・5ト、軒下有効天井高5・5メートルを確保。貨物用エレベーター10基、垂直搬送機4基、大型車16台分と乗用車117台分の駐車場も備える。

臨海部に位置し、高潮による浸水リスクがあることから高床式としており、庫内の商品がほこりや湿気の影響を受けにくい。屋上に太陽光パネルを設置するとともに耐熱性の高い外壁を使用するなど環境にも配慮。1階には休憩室を設けて働きやすさも追求している。

同社では「今後も顧客の事業継続に最適な立地に物流拠点を展開し、物流サービスの向上を目指す」としている。（吉田英行）